

# 世界初！カーボンフリーパックご飯 2027年春始動へ

当社は、産業廃棄物の中間処理を通じてリサイクルに取り組み、限りある資源を未来へとつなぐ持続可能な社会の実現を目指してまいりました。

そして今、産業廃棄物の焼却処理で発生する排熱エネルギーを活用し、CO<sub>2</sub>を一切排出せずにパックごはんを製造する、世界初の取り組みに挑戦しています。

これまで大気中へ放出されていた熱を有効活用することで、「廃棄物 × 食品 × 脱炭素」という新たな価値を創出する——それが、私たちの目指す未来です。

現在、本プロジェクトでは製造工場および焼却施設の建設が順調に進んでおり、2027年4月の本格稼働に向けて着実に準備を進めています。

廃棄物処理業の枠を超え、環境負荷の低減と食の持続可能性に貢献するために、これからも挑戦を続けてまいります。

# 無菌加工米飯への取組み



**ENVIRONMENT**

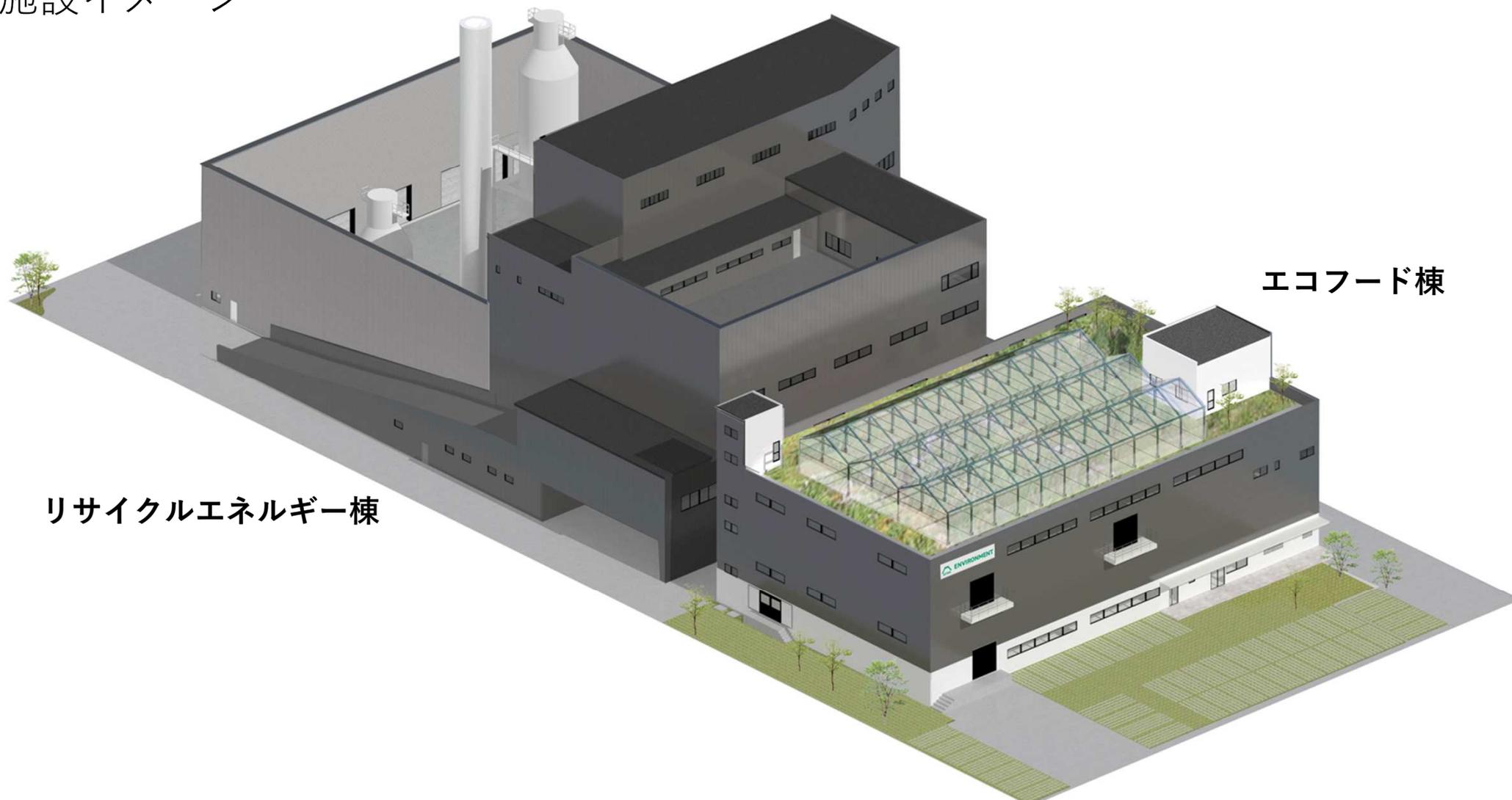
# 新たな事業へ挑戦します



# 施設イメージ



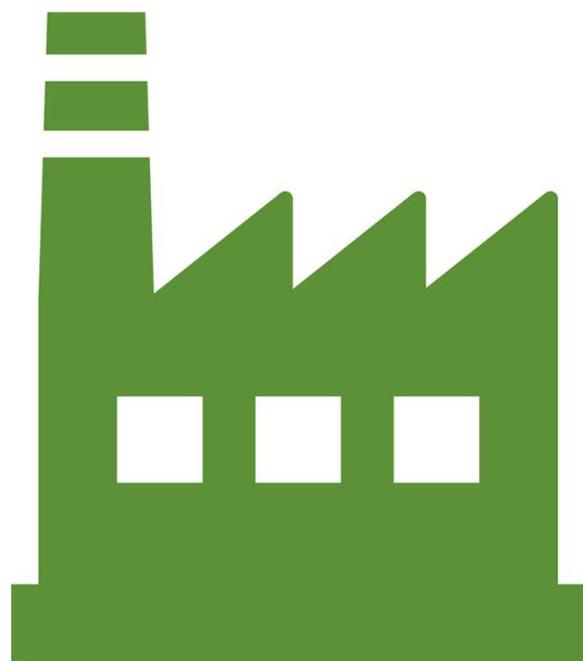
# 施設イメージ



リサイクルエネルギー棟

エコフード棟

## リサイクルエネルギー棟



120 t / 日焼却処理

発電量 500 kW

マテリアルリサイクル

100% 目指す

## エコフード棟

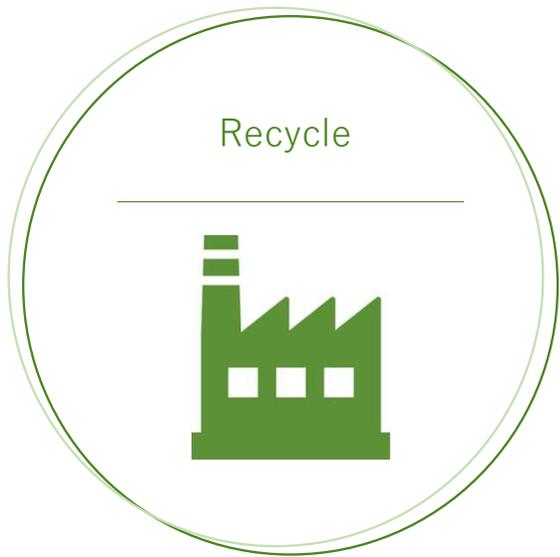


最大年間

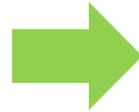
2,700万食

炊飯エネルギー使用 0

CO2排出 0



エネルギー



# 脱炭素の試み

2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロに



太陽光発電の  
導入



エネルギー使用の  
見える化



自然エネルギー  
由来の電力使用



廃棄物削減

製造工程からのCO<sub>2</sub>排出をゼロ



年間CO<sub>2</sub>削減量

540 t



スギ 約4万本分

水

蒸気

空気

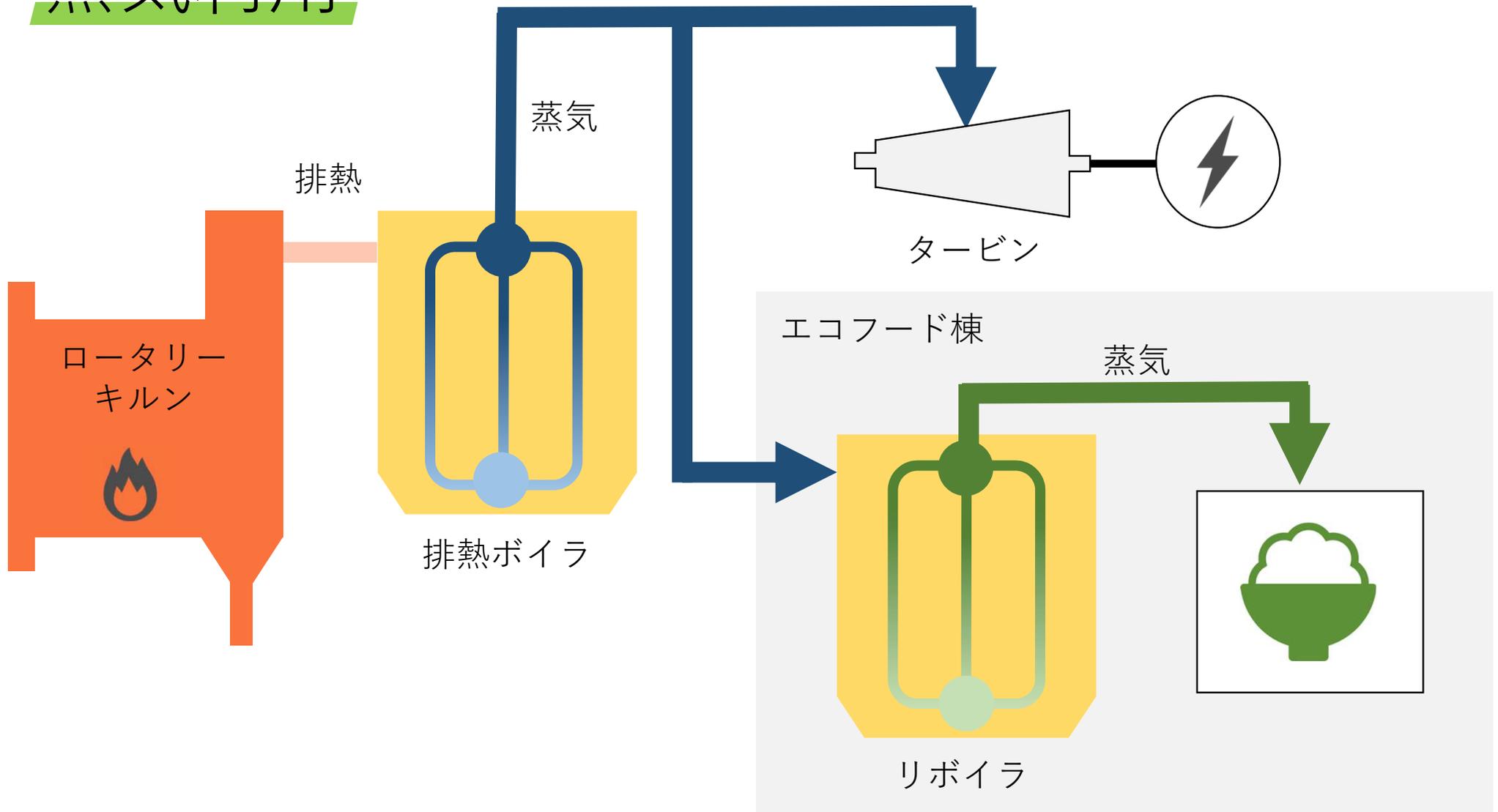


問題ないか？

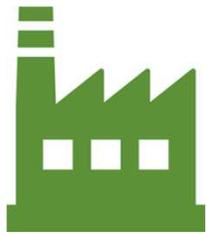
# 水利用



# 蒸気利用



# 空気



排気

公害防止基準順守



吸気

高性能フィルターを設置

HEPAフィルター  
99.97%以上の粒子捕集  
(粒径が $0.3\mu\text{m}$ の粒子)

# 動脈産業 × 静脈産業 連携で実現する資源循環

動脈産業は製造・流通で価値を生み、  
静脈産業はリサイクル等で資源を循環させます。  
両者の協働（動静脈連携）は国も推進しており、  
資源使用の削減や温室効果ガスの抑制が期待されています。

当社の新事業は、産業廃棄物のリサイクル事業（静脈産業）  
で作られた熱エネルギーを、食品事業（動脈産業）に循環させます。

国目指している沿う静脈連携とは少し異質ではありますが、  
当社が行っていく事業も、立派な動静脈連携だと考えております。

お客様には、環境配慮と安定供給の両立を価値としてお届けし、  
地域と産業の持続可能性に貢献してまいります。

